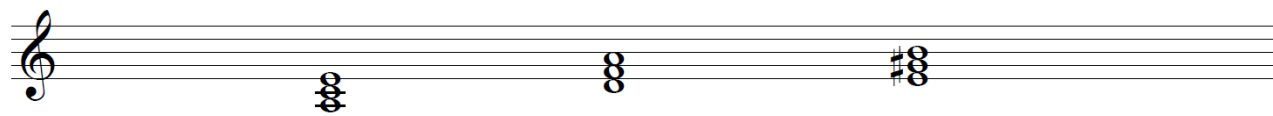


中学校音楽 解答例

1	(1)	三味線，または三味線と囃子で演奏する間奏。				3 点							
	(2)	19 世紀半ば頃に成立した，自然や文学的な内容などを，オーケストラを用いて自由な形で描く音楽				3 点							
	(3)	読み方：アンダンテ コン モート		意味：ゆっくり歩くような速さで，動きをつけて		完全解答 3 点							
	(4)	読み方：リテヌート		意味：すぐに遅く		完全解答 3 点							
	(5)					4 点							
2	(1)	①	ベートーヴェン		②	交響曲第 5 番		各 3 点					
	(2)							4 点					
3	(1)	①	バロック時代		②	協奏曲		③	通奏低音		各 2 点		
	(2)	①	押し手		②	引き色		③	検校		④	平調子	
4												4 点	
5	(1)	山田 耕筰									3 点		
	(2)	①	・旋律がヨナ抜き音階でつくられている。 ・言葉の抑揚と旋律の動きが合っている。 など									3 点	
		②	【題材名】 旋律の特徴や強弱の変化を生かし，曲にふさわしい表現を工夫しよう など 【理由】 思考，判断のよりどころとする要素を「旋律」「強弱」に設定して，『赤とんぼ』の詩の表す情景や心情を，旋律線の方向性や進行と強弱の変化を生かした表現で歌唱させたいから									5 点	

6	(1)	①	幅広い	②	構造	各 2 点
		③	創意工夫	④	豊かな情操	
	(2)	①	実感	②	音環境	各 2 点
7	(1)	①	【教材曲】 『勸進帳』より、「これやこの～山かくす」の義経一行が花道に登場する場面の長唄 など			3 点
			【技能】 三味線音楽の独特な間やテンポを生かした表現で演奏をするために、必要なバチの当て方や勘所の押さえ方などの奏法を身に付けさせる。			3 点
		②	【設定した要素】 リズム など			5 点
			【理由】 三味線音楽に見られるリズムや間を捉え、様々な表現を試しながら思考・判断し、三味線音楽にふさわしい器楽表現を創意工夫させるため。			
		③	生徒一人一人が知覚・感受した曲固有のよさや特徴について、対話的な学びを通し価値を判断していく。それらを生かして表現した演奏を他者と共有し、創意工夫した表現が、多くの人が共通して感じ取れるようなものになっているか考える。			4 点
	(2)	①	亡き王女のためのパヴァーヌ など			3 点
		②	【1 時間目】 ・演奏を聴き、気付いたことや感じ取ったことなどを共有する。 ・『ボレロ』のリズム、旋律、強弱にどのような特徴があるか全体で共有する。 ・『ボレロ』以外の 2 つの旋律が繰り返される曲を聴き、「構成」の働きを知覚・感受する。 など			6 点
			【2 時間目】 ・2 つの旋律が繰り返されながらどのように変化していくか「構成」に注目しながら聴く。 ・感じ取った曲想と、楽器の音色や強弱の変化との関わりについて考え、発表し合う。 ・改めて曲全体を聴き、『ボレロ』のよさや美しさについて根拠とともにまとめ、発表し合う。 など			
		③	【知識】 曲想と音楽の構造との関わり など			5 点
			【手立て】 『ボレロ』を聴いて感じたことと感じ取った理由について、知覚したことと感受したことを関わらせて音楽の構造の視点から生徒自身が捉えられるようにしていく。			
		④	『ボレロ』の曲全体を聴き、構成や曲想の変化を根拠に感じたよさや美しさを他者と共有させ、机間巡視をしながら発言等で評価を行う。また、最終的に自分の考えたよさや美しさをワークシートにまとめさせたものをうい評価を行う。			4 点